

令和元年 5月 21日

(公社)埼玉県介護老人保健施設協会
 会長 小川郁男 様

施設名 介護老人保健施設 かがやき
 氏名 橋本 浩一

研修会報告書

研修会名	令和元年度第1回アクティビティ研修会			
日時	平成30年5月21日(木) 10:00~15:30			
会場	県民活動総合センター 210セミナー室			
講師	遠山 昭雄 氏 三橋 とら 氏			
参加人数	30名			
研修委員 (氏名・施設名)	菅原 正道(グリーンビレッジ安行) 大淵 美香(あすかHOUSE松伏) 木浦 博史(きんもくせい) 石塚 直美(はつかり) 橋本 浩一(かがやき)			
研修会のテーマ	紙芝居はこんなに深くて面白い			
研修会の評価	アンケート回収枚数	29 枚	3. グループワーク	
	1. 研修内容と目的の一致	4.5 / 5	4. 研修会の進め方	
	2. 講義に対する評価	①	5 / 5	~総合評価点~
		②	5 / 5	
③		/ 5		
④		/ 5		
			5 / 5	
			4.3 / 5	
			23 / 25	
総 評	(研修会開催後の反省会での内容や研修委員としての感想等を記述)			
	・紙芝居が初めてで、参考になった。今の自分ができることから初めて、知識を取り入れ、紙芝居始めていきたい。			
	・今、以上に利用者を観察し、個々に興味を持っていることを聞き出し、レクリエーションに紙芝居を取り入れていきたい。			
	・演じている世界に引き込まれた。利用者を引き付けるレクリエーションを行なっていきたい。			
	・利用者に楽しんでもらうのではなく、利用者と一緒にレクリエーションを楽しみたい。			
	・利用者の気持ちや思いを汲み取り、レクリエーションや演技などに挑戦したい。			
	・演技の中で、間の取り方や引き付け方の方法を学ぶことができた。また小道具なども用いており、参加者に手渡して紙芝居に参加していただく手法も学ぶことができた。			
	・紙芝居の中で、音楽や歌を取り入れたり、楽器を取り入れることで、さらに、物語が引き立っていた。まるでドラマや映画をみているかのようだった。見ているだけでとても楽しく、一コマごとに工夫されていた。			
	・紙芝居を演じることは、知識や教養が必要だと思った。講師の方は、絵描きの勉強や表現技法の習得、演技や芝居の技術を一生懸命勉強されていると感じた。私達も今できることから少しずつ始めていきたい。			
	・紙芝居作品の一つ一つが、見ている方にとても響いているように感じた。人の心までも動かすこともできると思った。魅力的だった。			
・グループワークを行う時間をあまり確保できなかった為、今回は、取り入れていけたらと思う。				

*アンケート結果の詳細については、別紙添付資料「研修会アンケートのまとめ」を参照。